



入監委発第100号

令和3年1月4日

入間市長 杉島理一郎様

入間市議会議長 金子俊雄様

入間市教育委員会教育長 西澤泰男様

入間市監査委員 比留間 嘉章

同 鈴木洋明

令和2年度定例監査（第1回）の結果について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、定例監査を入間市監査基準に準拠し実施したので、同条第9項の規定により、監査結果を報告します。

## 1 監査の種類

定例監査

## 2 監査の対象

監査実施期日	監査実施箇所
令和2年10月28日(水)	金子支所、宮寺支所、 健康福祉センター、博物館、 金子公民館、宮寺公民館、二本木公民館
令和2年10月30日(金)	金子小学校、狭山小学校、 宮寺小学校、藤沢南小学校、 武蔵中学校、金子中学校、 上藤沢中学校
令和2年11月2日(月)	金子第一保育所、金子第二保育所、 宮寺保育所、二本木保育所、 金子学童保育室、金子第二学童保育室、 狭山学童保育室、宮寺学童保育室、 藤沢南学童保育室、藤沢南第二学童保育室

## 3 監査の対象とした事項及び範囲

令和2年4月1日から8月31日までの期間を対象とした、各施設等における財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行

## 4 監査の着眼点

各施設の管理及び利用状況、工事及び委託業務の執行状況、備品の管理状況、公金及び切手等の保管状況、出勤簿、年次有給休暇簿の記載状況等に主眼を置き、事務執行の適法性、効率性及び妥当性の観点から検証した。

## 5 監査の実施内容

令和2年度の財務等に関する事務の執行について、施設等の状況を確認するため  
実地監査を実施するとともに、施設概要、予算執行に関する調書等あらかじめ提出  
を求めた監査資料に基づき、関係職員からの事情聴取と、抽出により関係書類等の  
実査を行った。

## 6 監査の結果

財務等に関する事務の執行状況、施設及び物品の管理状況について監査したところ、各施設共におおむね良好と認められたが、一部には検討又は改善を要する事項が見受けられたので、次のとおり記載する。

### (1) 健康福祉センター

- ・ 周辺環境にも留意しながら、施設を適切に維持・活用するとともに、日常の安全点検等の充実、強化を図り、緊急性や危険度に応じて順次対応策を講じていることがうかがわれた。安全で良好な環境を確保することは、適正な施設管理を図る上で極めて重要であることから、引き続き施設の適切な管理運営を望むものである。

### (2) 保育所

- ・ 二本木保育所に設置してある木造のテラス屋根は、柱2本で支える構造でありながら片側の柱がなく、テラス屋根をビス止めにより支えている状況であった。降雪による強度不足も懸念されることから、事故防止のため早急に対応を検討し安全確保に努められたい。(保育幼稚園課)



柱がなく、ビス止めにより支えているテラス屋根

- ・ 多動や興味関心の偏りの傾向がみられる児童への対応では、集団生活への適応に気がかりなところがある児童も増えている現状にあって、保育士の人員配置に余裕がなく厳しい様子が見受けられた。集団での生活や適応に支援が必要な児童の保育に対しては、現状に見合った保育士の増員配置が出来るよう対応を検討されたい。(保育幼稚園課)

### (3) 学童保育室

- ・ 藤沢南学童保育室、藤沢南第二学童保育室の玄関前U字溝に敷設されたグレーチング蓋は、長さが短かく隙間に足がはまる危険な状況であった。応急的な対応を図ったが、事故防止のため早急に対応を検討し安全確保に努められたい。

(青少年課)



U字溝のグレーチング蓋の間に生じていた隙間

### (4) 小・中学校

- ・ 学校の刃物、薬品の保管状況については、コロナ禍の影響で使用頻度は低かったものの、在庫数量と記録簿の数値は、抽出突合の結果一致しており概ね適正に管理されていた。刃物等の管理簿と使用簿の様式は、学校独自に作成しているとのことであったが、各学校でほぼ同様の様式が使用されており、効果的、効率的な取組が情報共有されていることがうかがわれた。また、美術室管理表については、使用時に持ち出した工具の番号に○印を付け、返却時に斜線を入れる等使用履歴は適切に記録されており、工具と一緒に見やすい場所に置く等安全に関する取組が効果的に実施されていた。(武蔵中学校) 良い取組は、他の学校の情報を入手しないと気付かないものであり、反映されていかないものである。児童生徒の安全確保を図る上で、引き続き学校間で情報共有を図り安全性に十分配慮した管理運営を望むものである。

### (5) 全体

- ・ AEDを設置している施設では、AEDが設置されていることを多数の市民が認識できるよう、AEDの設置表示のマークやポスターが施設の入口付近やAEDの設置場所に掲示されていた。しかしながら、一部の施設ではAED設置表示のマークが劣化により色が薄くなり、特に赤色のAEDハートマークは外から認

識出来ない状況であった。救助実施者がAEDの設置されている施設や設置場所をいち早く知ることが、AEDのより早い使用につながることから、誰もが認識しやすいAED設置施設の表示を徹底するとともに、各施設においては改めてAEDの適切な設置及び管理を望むものである。



赤色のAEDマーク(ハートマーク)が薄くなった屋外の設置表示マーク